大垣市民病院外科専門研修プログラム

1. 大垣市民病院外科専門研修プログラムについて

大垣市民病院外科専門研修プログラムの目的と使命は以下の5点です。

1）専攻医が医師として必要な基本的診療能力を習得すること

2）専攻医が外科領域の専門的診療能力を習得すること

3）上記に関する知識･技能･態度と高い倫理性を備えることにより、患者に信頼され、標準的な医療を提供でき、プロフェッショナルとしての誇りを持ち、患者への責任を果たせる外科専門医となること

4）外科専門医の育成を通して国民の健康･福祉に貢献すること

5）外科領域全般からサブスペシャル領域（消化器外科･心臓･血管外科、呼吸器外科、乳腺･内分泌外科、小児外科）の専門研修を行い、それぞれの領域の専門医取得へと連動すること

2. 研修プログラムの施設群

大垣市民病院と連携施設（5施設）により専門研修施設群を構成します。

本専門研修施設群では22名の専門研修指導医が専攻医を指導します。

専門研修基幹施設

名称	都道府県	1. 消化器外科、心臓血管外科、3. 呼吸器外科、4. 小児外科、5. 乳腺内分泌外科、6. その他（救急含む）	1. 総括責任者名 2. 統括副責任者名
大垣市民病院	岐阜県	1、2、3、4、5	1. 前田敦行 2. 玉木修治

専門研修連携施設

No.	名称	都道府県		連携施設担当者名
1	名古屋大学病院	愛知県	1、2、3、4、5	山口淳平
2	春日井市民病院	愛知県	1、2、3、4、5	渡辺真哉
3	山下病院	愛知県	1	西垣英治
4	可児とうのう病院	岐阜県	1、4	岸田喜彦
5	久美愛厚生病院	岐阜県	1、5	加藤健宏

3．専攻医の受け入れ数について

本専門研修施設群の3年間 NCD 登録数は 11，370例で、専門研修指導医は22名のため、本年度の募集専攻医数は8名です。

4．外科専門研修について

1）外科専門医は初期臨床研修終了後、3年の専門研修で育成されます。

- 3年間の専門研修期間中、基幹施設または連携施設で最低6カ月の研修を行います。
- 専門研修の3年間の1、2、3年目には、それぞれ医師に求められる基本的診療能力・態度（コアコンピテンシー）と外科専門研修プログラム整備基準にもとづいた外科専門医に求められる知識・技術の習得目標を設定し、その年度の終わりに達成度を評価して、基本から応用へ、さらに専門医としての実力をつけていくように配慮します。具体的な評価方法は後の項目で示します。
- 専門研修期間中に大学院へ進むことも可能です。大学院コースを選択して臨床に従事しながら臨床研究を進める場合、その期間は専門研修期間として扱われます。
-